

2020年度活動報告

組込みシステム産業振興機構

2020年度 事業計画

1. 「組込み適塾」のブランド価値向上と活用促進

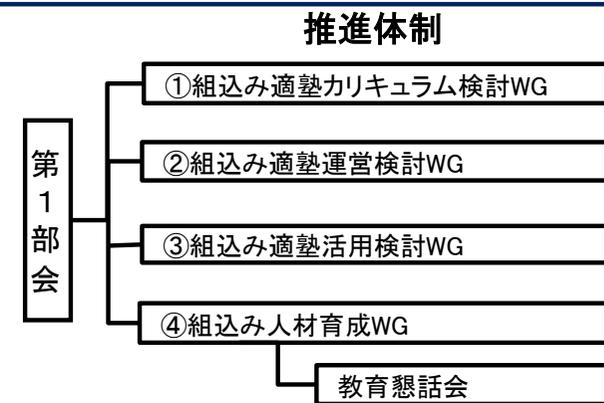
- (1) STEP5事業方針「十字型人材の輩出」を目指したカリキュラムの改善・拡充(①)
- (2) iCDに基づく講座レベルの明確化と「情報化促進貢献個人等表彰」への再挑戦(①、③)
- (3) キャリアガイド改善、活用ガイド策定、講師派遣型出前講座実施による積極活用支援(②、③)

2. 自由で活発な交流の”場”の提供

- (1) 関係者/講師/受講生間の人的ネットワーク形成の支援(②)

3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

- (1) 「十字型人材の育成」に向けた組込み人材育成指針の検討と教育懇話会の開催(④)
- (2) 組込み適塾修了生の活躍状況の把握と修了レベル認定の検討(④)



2020年度の実績

1. 「組込み適塾」のブランド価値向上と活用促進

【目標】 受講生満足度85%以上継続。組込み適塾講座のレベル付け完了。キャリアガイド改善と活用ガイド策定完了。表彰の受賞。

【実績】 オンライン開催による規模縮小により受講者数減ながらも、対計画増収。受講生満足度は87.4%。ガイド改善・策定を完了。お墨付き取得は未達。

- (1) コロナ禍により、第13回組込み適塾を集合研修形式から、zoomを用いたリアルタイムのオンライン配信形式に変更して開催。
講座数:29講座(73%)、開催日数:28日(58%)、受講者数:190名(83%)、延べ受講講座数 537講座(70%)[以上、対前年比]。収入は計画比136%。
受講地の制約がなくなり、受講機関数は微増(34→35機関)。新規参加機関の比率が大幅増(21%→43%)。特に非会員機関の受講が増(4→10機関)。
開講前の模擬講座の実施により、ほぼトラブルなく全日程を終了。受講生満足度は87.4%で微増。指標導入以来4年連続で85%以上を達成。
22講座・延べ48名のWGメンバーによる講座参観と受講生アンケートをもとに改善点を洗い出し次年度カリキュラムを策定。
- (2) 今年度開催の19講座(日程短縮講座を除く)について、iCDに基づき講座で習得可能なタスク/スキルとそのレベルを明確化し講座体系にマッピング。
IPA社会基盤センターに推薦いただき「情報化促進貢献個人等表彰」に再度応募したが受賞はならず。コロナ対応関連のテーマが受賞。
- (3) オンライン開催により、講師派遣型出前講座は通常のオンライン型で実施。遠隔講座全体が中止のため中国地方との試行も中止。
組込み適塾コースマップの改善と組込み適塾活用ガイドの策定を継続中。

2. 自由で活発な交流の”場”の提供

【目標】 交流会参加者数対前年30%増。 LMSの掲示板の利用数(講座数、スレッド数)対前年50%増。

【実績】 オンライン開催への変更により、集合形式の式典・交流会はすべて中止。LMSの掲示板の利用数は伸びず。

- (1) 適塾説明会をオンデマンド型配信で実施。入塾式は来賓メッセージをWebに掲載することで置き換え。それら以外の式典・交流会はすべて中止。
組込み適塾用LMSの質疑・交流用掲示板の活用はほぼ前年並みに留まったが、講師自身によるお知らせ掲示板への直接投稿が増加。

3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

【目標】 教育懇話会(3回)開催。修了生調査の実施。修了生のレベル認定制の検討完了。

【実績】 教育懇話会を3回開催。修了生フォロー調査に代えて、教育懇話会でパネルディスカッションを実施。レベル認定制の導入を決定、詳細は継続検討。

- (1) 教育懇話会を通じて人材育成について意見交換:①パネル討論「組込み適塾の活用」、②enPiT2 2020年度 AiBiC Spiral、③アーキテクトの育成。
- (2) 優良修了認定制度の認定基準を決定。第14回組込み適塾のアーキテクチャ設計コースから導入開始を予定。

2020年度 事業計画

1. 戦略的展示会開催によるビジネス機会創出支援

- (1) 戦略的に展示会を開催し、ビジネス創出の場を提供(①)
- (2) 展示先企業のニーズ情報の取得、展示先企業との人脈形成など、出展成果向上のための施策実施(①)
- (3) 来場者・出展社の評価を定量化し、施策改善に活用(①)

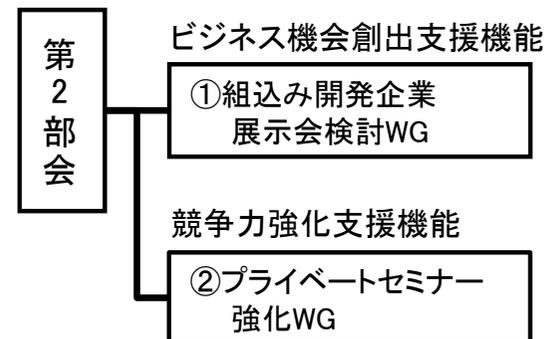
2. プライベートセミナーによる競争力強化支援

- (1) 会員にとって競争力強化につながる講演を提供(②)
- (2) 組込み開発企業展示会の展示先企業向けセミナーとの連携(②)
- (3) 双方向で意見交換を出来る場を提供(②)
- (4) 先端施設見学会を開催(②)

3. WINKと連携しオープンイノベーション創出の場を提供

- (1) WINK参加チームからの要望があれば、展示会、プライベートセミナーを活用した場を提供(①②)

推進体制



2020年度の実績

1. 戦略的展示会開催によるビジネス機会創出支援

【目標】 年間3回開催(昨年度繰り越し分含む)。会員メリット向上のための継続的な施策改善。展示会の出展企業の成果の定量化、見える化。

【実績】 新型コロナの影響で開催できず。21年5月21日(金)に初めてのオンライン開催が決定、開催概要説明会を実施。

- (1) 9月11日に三菱電機で開催が決まっていたが感染拡大のため延期となり、改めてオンラインでの開催を打診し、21年5月21日開催が確定した。
- (2) 事前ニーズ説明会をオンライン開催し、三菱電機の出展要望テーマを得た。ESIP初めてのオンライン展示会につき、会員向け要領説明会を開催した。
- (3) 展示会が開催できなかったため、評価できず。

2. プライベートセミナーによる競争力強化支援

【目標】 年間4回開催。最大定員30名に対して参加者:平均25名。

【実績】 年間4回開催。ハイブリッド開催することにより、今まで参加が乏しかった遠方からの参加者が増え、参加平均数は37名(第3回まで)となった。

- (1) 目標通り4回開催予定。AI・IoT、システム再構築、宇宙、サイバーフィジカルシステムと多岐にわたるテーマで開催した。参加者の平均は37名。ハイブリッド開催としたことで、コロナ禍により出張を自粛している企業や東海地方など遠方企業からの参加が多かった。
- (2) 昨年度下期、今年度と展示会を開催できていないため、プライベートセミナーに展示会の産総研講演を組み入れることができなかった。
- (3) ハイブリッド開催において、会場からの質問だけでなくオンラインでの参加者からの質問も受け付け、活発に議論いただいた。新型コロナの感染状況が落ち着いていた第3回は、講師に会場に来ていただき、臨場感あふれる講演と参加者との活発な議論をいただいた。
- (4) NTT西日本LINKSPARKにおいて、デモ見学、技術者との交流会を行った。交流会ではESIP参加企業の技術紹介を行い、活発な情報交換を行った。

3. WINKと連携しオープンイノベーション創出の場を提供

【目標】 WINKから生まれたアイデアのビジネス化を支援。

【実績】 企画広報部会より、過去受賞チーム、今年度参加チームにプライベートセミナーの場の活用を打診したが、応募チームは無かった。

- (1) プライベートセミナーの第1回(AI/IoT)案内を過去受賞チームに、第4回(サイバーフィジカルシステム)案内を今年度参加チームを行った。

3. 企画広報部会(企画・広報事業)年間活動報告

2020年度 事業計画

1. “WINK”コンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実
 - (1) 広報活動強化による参加チームの多様性、応募数の確保
 - (2) ビジネス化に向けたアフターフォローの強化
2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信
 - (1) 外部団体との連携による各種セミナーを通じた最先端技術の情報発信
3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の強化
 - (1) 第10回全国組込み産業フォーラムによる中国地域との連携と団体間交流
4. 部会施策の広報支援やプロモーションによる機構のプレゼンス向上
 - (1) 機構主要施策のプロモーション継続と各種メディアを通じた情報発信
 - (2) 関連団体イベントへの共催・出展・後援などを通じた情報発信
 - (3) 広報機会の増加による研究会の活性化

2020年度の実績

1. “WINK”コンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実
 - 【目標】 応募チーム9チーム以上(学生・非会員層から2チーム)、過年度を含めた受賞チームに対するビジネス化支援(1件以上/チーム)
 - 【実績】 応募:12チーム(内 学生・非会員層 5チーム)、ビジネス化支援1~2件/チーム
 - (1) 募集早期化及び広報活動強化(SNS活用、HPリニューアル、学校関係、他団体等へのアプローチ強化)等により12チームを確保。初のオンライン開催を大きなトラブル無く運営。
 - (2) 過去受賞チームのプロモーション、支援機関への相談、ナレッジイノベーションアワードへのエントリー[10件]
2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信
 - 【目標】 外部団体と共催等によるセミナーの実施[3件]
 - 【実績】 外部団体との連携によるセミナーの開催[3件]
 - (1) KIIS・関経連と連携(サイバーセキュリティトップセミナー)、関経連・産総研他と連携(地域交流プラザ i-RooBo Network Forum・関経連と連携(ロボット・AIセミナー) [3件]
3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の強化
 - 【目標】 第10回全国組込み産業フォーラムの開催と既存連携団体との関係強化、新規連携団体の拡充
 - 【実績】 コロナ禍影響により広島開催は来年度に延期とし、代替にて組込み・IoT産業 地域交流プラザ2020をオンライン開催。
 - (1) 組込み関連3団体、産総研、経産省等の既存連携団体との関係強化、新規連携4団体との関係を構築。
4. 部会施策の広報支援やプロモーションによる機構のプレゼンス向上
 - 【目標】 各施策での記事掲載[3件]、外部イベントでの情報発信[3件]、新規研究会の立ち上げ[2件]
 - 【実績】 各施策での記事掲載[6件]、外部イベントでの情報発信[6件]、新規研究会の立ち上げ[0件]
 - (1) 新聞:WINK、組込み適塾、地域交流プラザ、ロボット・AIセミナー[5件]、関経連機関紙:WINK[1件]
 - (2) 組込み適塾他機構施策紹介:WINK2020他[4件]、組込み適塾電子資料配架他:ASIFフォーラム他[2件]
 - (3) 万博を通じたスマートシティ研究会の活動継続希望者にて新たなテーマを協議し、新規チーム立ち上げに向けて活動継続中。